ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字:栢木寛照

えとす
令和3年 No.335 12月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

内閣成立後初の本格的国会論戦
丁寧で安定感のある首相答弁

聞き上手に野党攻めあぐねる

12月6日、第207回国会が召集され、同日衆参本会議場で、内閣総理大臣の所信表明演説が行われた。8、9、10日には、衆参本会議で、総理大臣の所信に対する質疑が行われた。総選挙後、野党第1党立憲民主党の代表が交代、泉代表は立憲民主党は建設的野党を目指すと表明した。代表の質問内容から、立憲の姿勢が少し変わって来たような印象を受けた。代表質問後、衆参の予算委員会が開かれ、令和3年度補正予算案の質疑に入った。15日には、衆議院本会議で補正予算案が可決、16日から舞台は参議院に移り、20日には参議院でも可決、補正予算案が成立した。衆参予算委では、各会派の議員から、コロナ対策のワクチン接種、経済対策、子育て世帯への10万円の給付金等に質問が集中した。今後補正予算が、コロナ対策をはじめ、各種施策の執行に支出され、日本経済が上向きになり、コロナで萎縮している社会が、明るさを取り戻すことを期待したい。来年こそ、コロナ禍から脱却し、健全で、明るい社会になってほしい。

参議院予算委員会で答弁する岸田首相

恒心

★NHKの大河ドラマ「青天を衝け」が人気を博している。出演俳優の好演技もさることながら、ドラマのストーリーも興味がある。幕末から明治へと激しく動く時代に、志の高い人物が、国のために良かれと思って働く姿に感動する。★わが国は徳川幕藩体制が倒れたものの、明治新政府は、国家をどう運営するのか、全く明確な方針がなかった。あるとすれば、欧米列強の植民地になることを避け、経済を豊かにして、軍事力を強化する、殖産興業、富国強兵を目指すしかなかった。★そのためには、脱亜入欧、つまり後進国アジアとのかかわりを捨て、西洋の制度、文物を取り入れて、1日も早く近代国家を形成する必要があった。渋沢栄一は民の立場に立って、日本の経済を近代化することに尽力した。★一方、官の立場から、西洋の優れた制度を導入する人も出てきた。明治4年には前島密が郵便制度を導入した。そして、薩摩藩士であった川路利良(かわじとしよし)が、パリで警察制度を学び、明治7年、わが国に近代的な警察制度を創立した。★川路は、同郷の西郷隆盛とは7才年下、若い時から、西郷に目を掛けられた。新政府に出仕して、西郷の推薦でパリに留学することが出来た。川路にとって、西郷は、まさに人生の恩人である。★明治10年、西南戦争が勃発した。新政府と西郷率いる薩摩軍との戦いである。そのころ、新政府の警察のトップとなっていた川路は、恩人西郷と戦わねばならなかった。人生とは誠に皮肉なものである。郷里の英雄西郷と一戦を交えた川路は、薩摩では裏切者として、人々の反感を買い、長く評価されなかった。

二ノ湯大臣の公務と現地視察

①11月25日
令和3年全国暴力追放運動中央大会
(明治記念館)

②11月26, 27日
福徳岡ノ場の噴火による軽石漂着等に係る
現場視察(鹿児島県奄美市)

③11月29日
全国公安委員会連絡会議
(公安委員長室：リモート形式)

④11月30日
令和元年5月に発生した交通事故の現場
を訪れ、黙禱をささげる(滋賀県大津市)

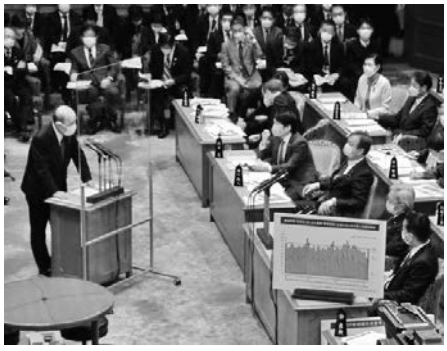
⑤12月1日
安全運転サポート車の機能の確認
(東京都江東区)

⑥12月1日
犯罪被害者週刊広報啓発イベント
(東京都中央区立日本橋公会堂)

⑦12月2日
小型農業ロボットの機能の確認
(合同庁舎2号館敷地内)

⑧12月3日
STOP! オレオレ詐欺47決起集会(明治記念館)
前列左から3人目、杉良太郎警察庁特別防犯対策監

⑨12月10日
黒岩神奈川県知事より要望書手交
(内閣府大臣室)



⑩12月16日
参議院予算委員会
(参議院 第 1 委員会室)

⑪12月18日
鍋田上水門(なべたかみすいもん)視察(三重県木曽岬町)

⑫12月22日
心療内科クリニック放火事件現場視察
(大阪市北区曽根崎新地)

自民党参院第2次公認候補者を決定
京都選挙区は吉井あきら氏

12月22日、自民党選挙対策本部は、来年夏に行われる参議院選挙の第2次公認候補者を決定した。京都府連から申請のあった吉井あきら氏(54・京都市会議員)が公認された。

プロフィール

昭和42年1月2日　山科区生まれ
昭和60年3月　洛南高等学校　卒業
　京都産業大学　中退
平成13年　自民党京都府第2選挙区支部長・山本直彦秘書
平成17年　衆議院議員山本ともひろ公設第1秘書
平成19年　京都市会議員初当選
平成23年　京都市会・教育福祉委員会委員長
平成25年　自民党京都市会議員団代表幹事・京都市会運営委員会理事
平成27年　京都市会運営委員会委員長
平成31年　自民党京都府連幹事長
令和2年　京都市会・予算・決算特別委員会委員長
現在
京都市会議員(当選回数：4回)
京都市監査委員
京都橘大学客員教授

吉井あきらの支援の輪を広げて下さい

今月号に吉井あきら後援会紹介者名簿を同封致しました。自民党公認候補者吉井あきら氏に支援の輪を一層大きく広げるために、京都府内の友人、知人をご紹介下さいますよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

ポスターの掲示をお願い致します

来年7月に参議院議員選挙が執行されます。二ノ湯事務所では、秘書が手分けして、京都府選挙区から自民党公認候補として立候補する予定の吉井あきら氏のポスター(二ノ湯さとし、西田昌司、吉井あきらの3連)を貼る作業を続けています。皆様の温かいご協力のお陰で、ポスターが各地で目立つようになってまいりました。しかし、知名度を高めるためには、もっと多く貼らなければなりません。ぜひポスター掲示に力をお貸し下さい。

来年1月号は
休刊させていただきます。

コロナ禍において、寒さ厳しき折、
お身体をご自愛のほど
良いお年をお迎えください。

年末のご挨拶

今年もあと数日で新しい年を迎えます。今年もコロナ禍で国民の行動が大きく制約され、重苦しい1年でした。それでも11月末頃から、コロナ感染者も徐々に収まり、12月に入ると、東京、大阪も極端に減り、今年の年末は小規模の忘年会も可能ではないかと期待しましたが、変異株オミクロン株が確認、その対策で大わらわの昨今です。3回目のワクチン接種で、オミクロン株が収まることを祈るばかりです。今年は10月4日の岸田内閣の成立で、私は国務大臣・国家公安委員会委員長に就任いたしました。忙しい毎日ですが、与えられた職責を果たしてまいる覚悟です。正月元旦は皇居での新年祝賀の儀、4日には岸田総理との伊勢神宮初詣と、来年もなかなか多忙な年となりそうです。「立つ鳥跡を濁さず」、政治家最後の年にふさわしい働きをしたいものです。新年が平和で安定した年になること、そして皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。

令和3年12月末日
国務大臣・国家公安委員会委員長
参議院議員　二之湯　智

国家公安委員会委員長室に額
警察の父「川路利良(かわじとしよし)」の言葉

鹿児島県警本部前に、平成11年、「日本警察の父」川路利良の銅像が建立された。碑には、「聲無きに聞き、形無きに見る」と刻まれている。その意味は警察官たるものは、国民の声や想いを感知し、国民の心に寄り添うべきであるという教えだと言われている。現在も警察官の活動指針となって生きている。

没後120年が経過し、郷里鹿児島において、ようやく川路の業績が評価された。二ノ湯議員が国家公安委員長に就任、二ノ湯智の書道の師範である日展書家高見廣流氏から、川路の言葉が贈られた。

国家公安委員長室に掲げられた
川路利良の言葉

日本の経済は正常化できるか？

アメリカの中央銀行にあたるFRBのパウエル議長は、これまで実施してきた金融緩和政策を来年3月に終了すると発表するとともに、来年中に3回の利上げを行う見通しも示しました。コロナ禍から経済が復調する中で、モノや人手の不足から物価が急上昇しているためです。

いっぽうわが国はどうでしょうか。長らく続くデフレを克服するためアベノミクスが始動して以来、日銀は金融緩和策を進めてきました。国債の発行を事実上引き受け、年間12兆円にも上る投資信託を購入しています。17日の政策決定会合で黒田総裁は、「日本が欧米のように金融政策を正常化することは現時点でない」と述べました。

金融緩和とはいわば経済の「カンフル剤」。体力を落とした経済に対する一時的な刺激でなければなりません。安倍総理(当時)もアベノミクス第2の矢(金融緩和)はデフレを脱却し経済を成長軌道に乗せるまでの時間稼ぎだと述べてきました。しかし一向にその出口は見えません。

カンフル剤を打てば活力を取り戻すのが健全な身体です。前述のアメリカや、政策金利を0・25%引き上げることを決定したイギリスのような経済がそうです。しかし日本の場合はカンフル剤を打っても正常化しないどころか、それに依存し手放せなくなっていると言えます。仮に今のわが国で日銀が金融緩和を正常化すれば、株価は暴落し実体経済にも大きな影響が出るでしょう。

わが国に今後世界をリードする成長産業があるのか、減少し続ける労働生産人口(15～64歳の人口)をどう手当てするのか、縮小するとみられる国内市場をどう維持・成長させていくか、減少し続ける国民所得をどう向上させるか、こうした本質的な課題にこれまでの政権は確たる答えを出せませんでした。

コロナ禍が徐々に収束に向かい世界各国において急速に需要が戻っている中で、日本だけが取り残される構図となりつつあります。国民もこうした縮小均衡に慣れつつあり危機感に乏しいのが現実ですが、政治家をはじめとしたリーダーたちには正しい危機感の啓蒙と知的な奮起が求められます。

桜美林大学客員教授
二之湯 武史

伊勢神宮初詣のご案内

京都市会議員時代から始めました
「お伊勢詣り」も今回が最後となります
参加ご希望の方は、
早急にお申込みください

◇旅行日　令和4年1月10日(月・祝)
◇会　費　13,000円
◇昼食場所　戸田家

初詣実行委員会

身辺雑記

一、臨時国会が終わった。対決法案もなく終始穏やかに推移した。衆参予算委員会での私への質問も6問だけだった。年明けの通常国会に備えて、年末年始は宿舎にこもって、所管事項に関する勉強をしなければならない。

一、11月23日は勤労感謝の日で祝日。戦前、この日は新嘗祭と言って祭日であった。新嘗祭とは、天皇陛下が五穀豊穣に感謝し、国の平和と国民の安寧を祈られる儀式である。私もお招きを受け、参列したが、誠に厳かな行事である。

一、コロナ感染数も減少し、収束に近づいてきたと思ったら、オミクロン株という変異株が入って来た。政府は3回目のワクチン接種を先ず、医療従事者、高齢者から始める意向であるが、出来るだけ早く多くの国民に、接種してもらいたい。

一、大臣になって初めて、三重県の先祖代々の墓参りに行った。親戚の人が、私が来ると言ったので、墓地の駐車場に市長、県会議員はじめ、多くの人が歓迎してくれた。志を果たして、ふるさとに帰った気分になった。

一、コロナ禍によって事業不振になった企業に、従業員の雇用を維持するために、雇用調整助成金制度がある。政党支部も受給出来る対象。この制度を使って、数人の議員が助成金を受け取っていた。国民はこれをどう見るか。

一、拉致被害者家族会の飯塚繁雄さんが亡くなった。妹の田口八重子さんが、幼い子どもを残し、北朝鮮に拉致された。長年、会長を務め救出に努力されたが、実現出来なかった。関係者も高齢になる。政府も解決を急いでもらいたい。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会
年会費　1口1万円
入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228